

ステップを刻む足。両者が一体となり流れるような動きを表現する＝6月23日

練習では真剣な中にも笑顔が絶えない＝6月16日、写真はいずれも名古屋市名東区の名古屋市身障者スポーツセンターで撮影

弾むステップ 笑顔も踊る



意のままに電動車いすを足で操作、ダンスに不自由はない＝5月26日



月曜日の午後5時。もありますが、回を追練習が始まる1時間前 うことに踊ることが楽になると、名古屋市身 しくなってきました」障者スポーツセン

Let's 車いすダンス！ ①

車いす使用者とパートナーが一体となって華麗なステップを踏む「車いすダンス」の愛好者が増えている。半世紀程前にイギリスで生まれたといわれるダンスは、今や競技として国際大会も開かれ、パラリンピックの冬季プログラム候補にもなっている。日本では01年にNPO法人「日本車いすスポーツ連盟」として認可され、全国31支部、約500人が登録、その育成、普及に取り組んでいる。ダンスの魅力にひかれ、躍動する人たちの姿を追った。

パートナーと力合わせて

会員のなかにはレベルアップし、10月に開かれる世界大会（ベラルーシ）への出場をほぼ手中に収めた選手もいる。車いすダンスの魅力は、立って踊るパートナーと力を合わせながら、スピード感あふれる動きと美しさを引き出すことだ。かつては障害者同士が車いすで踊る「デュオスタイル」「デュオスタイル」だったが、今はパートナーとペアを組む「コンビスタイル」が主流になっている。

寺田支部長は「スポーツをするのが困難な重度障害者でも車いすダンスなら楽しめる。新たな生きがいを見いだした人もおり、さらに愛好者が増えていくのではないかと期待している。

写真・文 大竹禎之



それぞれの障害に合わせてパートナーとフロアを舞う＝6月23日